

	コード	名	称	区分	コード	名	称
事業名	1041	収穫まつり開催事業		会計	01	一般会計	
				款	06	農林業費	
				項	01	農業費	
基本 施策	43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す		目	03	農業振興費	
				細目	287	農業振興経費	
行革大綱の重点事項番号			7	細々目	53	収穫まつり開催経費	
担当部課	コード	700100		担当者 氏 名	安岡健司	連絡先	47 - 1157 (内線)
	名 称	大山田支所振興課					

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)		大山田支所管内の市民		※対象件数
成果(どうする)		地域産業の発展と住民による地域づくり、都市住民との交流が図れる。		
根拠法令・要綱等				
開始年度	平成 2 年度	関連事業		
終了年度	平成 年度			
H21 事業 内容	事業内容： まつりの企画・運営・準備・片付け			
	(H21年度実績) 委託先： 大山田収穫まつり実行委員会 会場設営委託料： 2, 295, 000円			
社会情勢 の変化等				

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体 委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			目標	目標		
出店団体	団体		45	45	47	47
			実績	実績		
			45	47	50	50
			目標	目標		
出店ブース数	箇所		55	55	50	50
			実績	実績		
			55	49		

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				目標	目標		
来客数	判断する	まつりの来客数により、盛況ぶりを判断する	人	8500	9000	9000	9000
				実績	実績		
				9000	7000		
				目標	目標		
				実績	実績		

投入 コスト			H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
	直接事業費計 (A)		(千円) 2,700	(千円) 2,295	(千円) 2,295	(千円) 2,295
	Aの 財源 内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他	0	0	0	0
		一般財源	2,700	2,295	2,295	2,295
	事業投入人件費 (B)		0.3人 2,160	0.3人 2,160	0.2人 1,440	0.2人 1,440
	フルコスト(A)+(B)		4,860	4,455	3,735	3,735

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)			備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		地域の団体や組織を中心に模擬店を出店していただき、団体の活動をPRする場を提供することにより、地域産業の発展と住民による地域づくりや地域間交流を進められ、地域活性化もしくは農村活性化の推進につなげる。
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業		
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
達成度	当初設定した計画を	100%	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無	無	
効率性	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。
	【事業名】		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	平成21年度から取り組まれる伊賀市ふるさとづくり事業と連携をして、伊賀市としてのお祭りやイベントについて、スクラップアンドビルドの検討を行う。
昨年度の 取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 雨天などの影響で来客数が昨年度を下回ったが、地場産業の発展と住民による地域づくりや地域間交流ができた。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	土永瑞穂
事業の方向性	【方向性】 内容変更
	【理由】 今後、より多くの市民の参加が得られるよう創意工夫していくことが必要。
	現時点における課題、その他 今後、収穫まつりの運営について、事務局や実行委員会のあり方の検討が必要である。
課題、その他に対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	平成22年度中に収穫まつりの運営について、事務局や実行委員会のあり方の協議を行う。